

永平寺町火災予防条例の一部を改正する条例を次のように公布する。

令和7年12月23日

福井県吉田郡永平寺町長 河合 永 充

永平寺町条例第33号

### 永平寺町火災予防条例の一部を改正する条例

永平寺町火災予防条例(平成18年永平寺町条例第152号)の一部を次のように改正する。

目次中「第3章の2 住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準等(第31条の2―第31条の7)」を「

第3章の2 住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準等(第31条の2―第31条の7)

第3章の3 林野火災の予防(第31条の8・第31条の9)

」に改める。

第1条中「永平寺町」を「町」に改める。

第31条中「警報」の次に「(法第22条第3項に規定する火災に関する警報をいう。以下同じ。)」を加え、同条第7号を削る。

第31条の7第1項中「永平寺町」を「町」に改め、同条第2項中「永平寺町民」を「町民」に改める。

第3章の2の次に次の1章を加える。

#### 第3章の3 林野火災の予防

(林野火災に関する注意報)

第31条の8 町長は、気象の状況が山林、原野等における火災(以下「林野火災」という。)の予防上注意を要すると認めるときは、林野火災に関する注意報を発することができる。

2 前項の規定による注意報が発せられたときは、注意報が解除されるまでの間、町の区域内に在る者は、第31条各号に定める火の使用の制限に従うよう努めなければならない。

3 町長は、林野火災の発生の危険性を勘案して、前項の規定による火の使用の制限の努力義務の対象となる区域を指定することができる。

(林野火災の予防を目的とした火災に関する警報の発令中における火の使用の制限)

第31条の9 町長は、林野火災の予防を目的として火災に関する警報を発したときは、林野火災の発生の危険性を勘案して、第31条各号に定める火の使用の制限の対象となる区域を指定することができる。

第54条の3第1項第3号中「第57条」を「第57条第1項」に改める。

第57条第1号中「行為」の次に「(たき火を含む。)」を加え、同条に次の1項を加える。

2 消防長は、前項各号に掲げるそれぞれの行為について、届出の対象となる期間及び区域を指定することができる。

#### 附 則

この条例は、令和8年1月1日から施行する。